

生活道路のゾーン対策講習会(福岡)

対策実施地区における現地見学会・事例紹介・ワークショップ

警察庁による「ゾーン 30」や国土交通省による「生活道路対策エリア」を中心に、生活道路の交通安全対策が全国各地で実践されております。しかし、いまだ生活道路や通学路での交通事故がなくなったわけではありません。子どもや高齢者の安全を求める住民からの声に応え、あらゆる人が安全、安心にまちを歩けるよう、さらに対策を広めると同時に、より効果の高い対策を導入することが必要です。

この流れを受けて、平成 29 年 6 月、(一社)交通工学研究会による「生活道路のゾーン対策マニュアル」が大幅に改訂されました。本書は、生活道路対策の計画策定や対策手法の解説や数多くの対策事例を紹介した旧版マニュアルに最新の知見と豊富な事例を追記しました。全ページにわたって細部まで見直しをした一冊です。

今回の講習会では、このマニュアルの解説はもちろん、施策の最新情報についての講演、**実際にハンプを設置した松山市と久留米市における先進対策事例**を紹介します。さらに、デバイス導入に関する**ワークショップ**を実施し、参加者の皆さんからの質問やデバイス設置の課題などをテーマに、少人数のテーブルの話しやすい雰囲気の中でお応えします。また、講習会の翌日には久留米市で対策実施箇所の**現地見学会**も開催します。

今回の講習会では、このマニュアルの解説はもちろん、施策の最新情報についての講演、さらに**デバイス設置による先進対策事例の紹介**と、講習会の翌日には対策実施箇所における**現地見学会**も開催します。さらに、デバイス導入に関する**ワークショップ**を実施します。参加者の皆さんからの質問や現場での課題などをテーマに、少人数のテーブルの話しやすい雰囲気の中でお応えします。

検討業務や整備を担う技術者の皆様から、地域にお住まいの交通安全活動を担う皆様まで、幅広く「理論から実践まで」を網羅する講習会となっておりますので、会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

■主催:一般社団法人 交通工学研究会

■後援(予定):国土交通省、警察庁、福岡県警察本部、(一社)建設コンサルタンツ協会、(公財)国際交通安全学会

■日時(予定):講習会 平成 30 年 12 月 3 日(月) 現地見学 12 月 4 日(火)

■講習会場(予定):九州大学医学部 百年講堂 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

■現地見学(予定):久留米市の対策実施地区

プログラム・参加費・参加申し込み方法等詳細は、10月よりご案内申し上げます。



改訂 生活道路のゾーン対策マニュアル

交通工学研究会 発行 丸善出版 発売 平成 29 年 6 月発行 A4 版・223 頁
本体価格 3,500 円+税 会員価格 3,150 円+税 ISBN978-4-905990-86-4



目次

あなたの身近な生活道路で「クルマが怖い」と感じたら

本マニュアルの目的と使い方

第Ⅰ部 ゾーン対策の進め方

- 1.1 ゾーン対策をはじめる【ステップ0】
- 1.2 地区の課題を知る【ステップ1】
- 1.3 対策を考える【ステップ2】
- 1.4 対策を実施する【ステップ3】
- 1.5 課題の解決を確認する【ステップ4】

第Ⅱ部 対策手法と留意点

- 2.1 手法の種類と適用の考え方
- 2.2 主な手法の特徴と適用上の留意点
- 2.3 交通規制と物理的デバイスの主な組み合わせ事例
- 2.4 その他の留意点

第Ⅲ部 生活道路対策の事例

- 3.1 生活道路のゾーン対策の取り組み事例
- 3.2 各種取り組みと生活道路対策
「生活道路のゾーン対策マニュアル」
参考資料